めがねのまちさばえ
Sabae Japan Eyeglasses

鯖江まちなか交流・にぎわい協議会
アクションプログラム
（案）

令和８年１１月

目次

１．策定の趣旨

２．鯖江まちなか交流・にぎわい協議会の開催

３．目指す将来像

４．３つの方向性と具体的取組

５．にぎわい創出を加速する今後５年間の重点項目

６．推進体制

７．まとめ

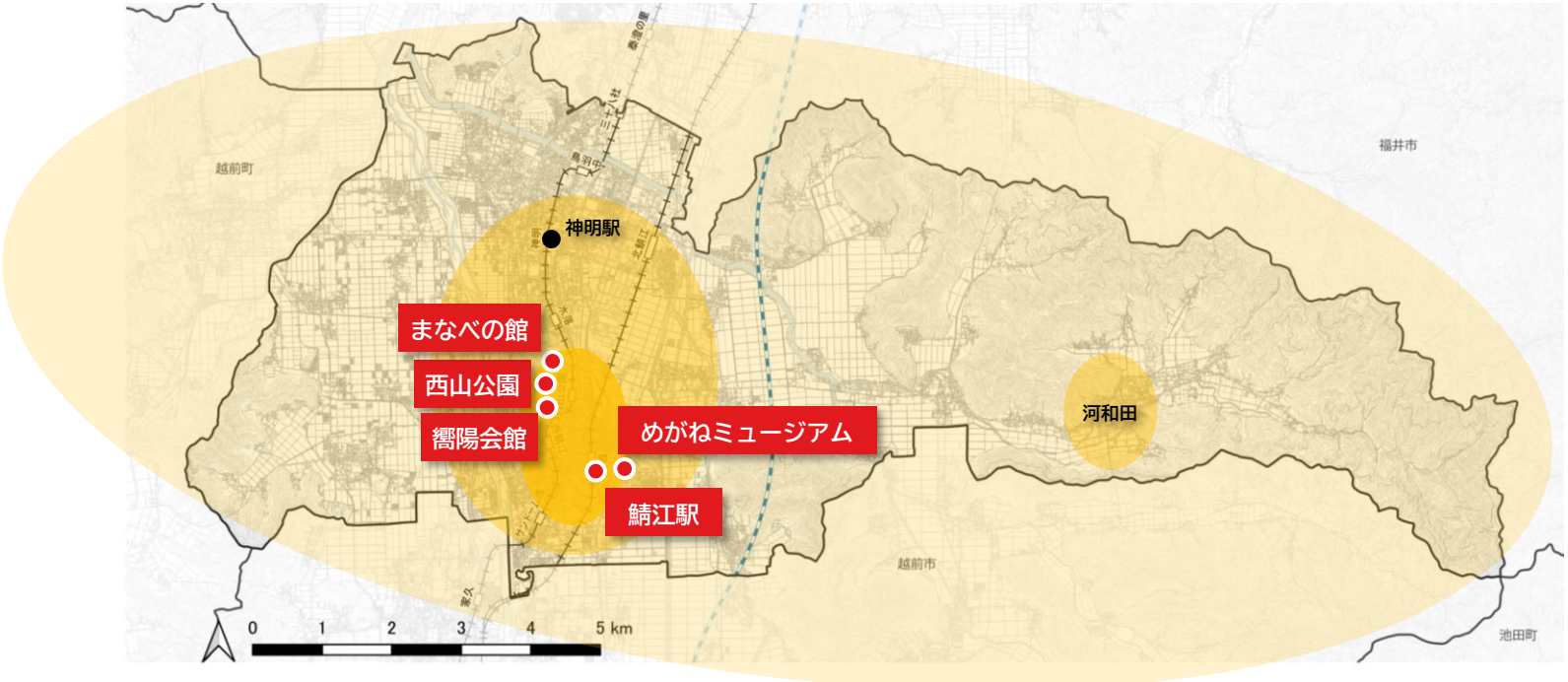
1．策定の趣旨

（1）策定の背景

- 鯖江駅や旧市街地をはじめ、めがね会館から西山公園へと広がるエリアは、鯖江市の観光・交流・まちづくりの中心的な拠点であり、本市の玄関口として重要な役割を担っています。
- 一方で、北陸新幹線福井・敦賀開業に伴う人の流れや地域経済への影響が懸念される中、駅周辺やまちなかの魅力向上と新たなにぎわいの創出がこれまで以上に重要な課題となっています。
- こうした状況を踏まえ、鯖江商工会議所、（一社）鯖江観光協会、鯖江市を中心とする「鯖江まちなか交流・にぎわい協議会」を設置し、地域の多様な主体が集い、まちなかの将来像や課題意識を共有するとともに、その実現に向けた具体的な取組について官民が連携しながら議論を重ね、「鯖江まちづくりアクションプログラム」を策定することとしました。

（2）目標年次、対象エリア

- 目標年次は、2031年（令和13年）とします。
- 対象エリアは、鯖江駅およびその周辺の商店街など、めがね会館から西山公園に広がるエリア。将来的には事業の進捗に応じ、その他のエリアと連携・協調を行い、その効果を市内全域に波及させます。



2．鯖江まちなか交流・にぎわい協議会の開催

（1）設立趣旨

- 鯖江駅や旧市街地をはじめ、めがねミュージアムから西山公園に広がるエリアは、鯖江市の観光・まちづくりの玄関口となっています。北陸新幹線福井・敦賀開業を契機に特急が停車しなくなった鯖江市にとって、駅やその周辺におけるまちなか再生や活性化は急務となっています。
- このため、鯖江商工会議所、（一社）鯖江観光協会、鯖江市がメンバーとなり、地域の多様な主体が集い、思いや考え、方向性を共有し、実現のための方策を官民が連携、協議する場として、鯖江まちなか交流・にぎわい協議会を設置しました。

（2）検討体制

鯖江まちなか交流・にぎわい協議会　官民連携での手段・体制の構築、推進
鯖江商工会議所会頭、(一社)鯖江観光協会会長、鯖江市長

幹事会　各分科会のとりまとめ（意見集約・議論）
鯖江商工会議所副会頭、(一社)鯖江観光協会専務、鯖江市副市長、
学識経験者　ほか

中心市街地分科会
さばえ街づくり協議会
商店街連合会
誠市実行委員会
地域活動団体
おかみさん会
地元区長　ほか

鯖江駅分科会
(株)ハピラインふくい
駅前商店会
宿泊事業者
タクシー協会
バス事業者
利用者代表　ほか

産業観光・交流分科会
(一社)福井県眼鏡協会
鯖江市繊維協会
越前漆器協同組合
福井鉄道(株)
旅行関係事業者
鯖江おせっ会　ほか

（3）検討経過

R7.11.6　第１回 協議会　現状課題、設立趣旨・目指す方向・組織体制　ほか
- R7.12～R8.3　第１回～第２回 中心市街地分科会
- R7.12～R8.3　第１回～第３回 鯖江駅分科会
- R7.12～R8.3　第１回～第３回 産業観光・交流分科会

R8.4.28　第１回 幹事会　アクションプログラムの方向性
- R8.5　第３回 中心市街地分科会
- R8.5　第４回 鯖江駅分科会
- R8.5　第４回 産業観光・交流分科会

R8.6.25　第２回 協議会　アクションプログラムの方向性
- R8.7　第４回 中心市街地分科会
- R8.8　第５回 鯖江駅分科会
- R8.7　第５回 産業観光・交流分科会

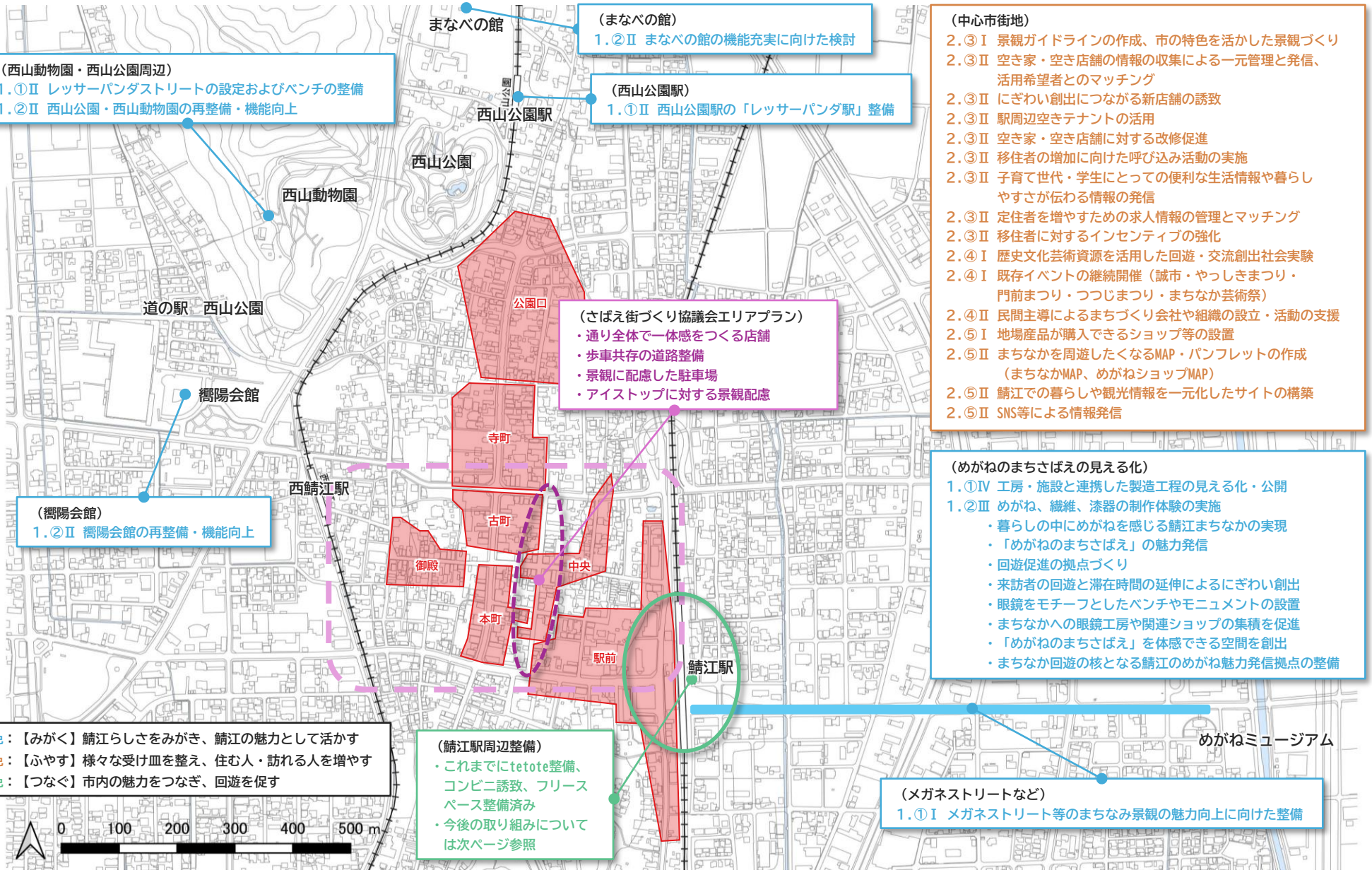
R8.8.21　３分科会合同ワークショップ
R8.9.30　第２回 幹事会　アクションプログラム（素案）
R8.10.19　第３回 協議会　アクションプログラム（素案）
R8.11.24　市民向け座談会
R9.1.中旬　第３回 幹事会　アクションプログラム（案）
R9.1.下旬　第４回 協議会　アクションプログラム


ワークショップの様子


幹事会の様子

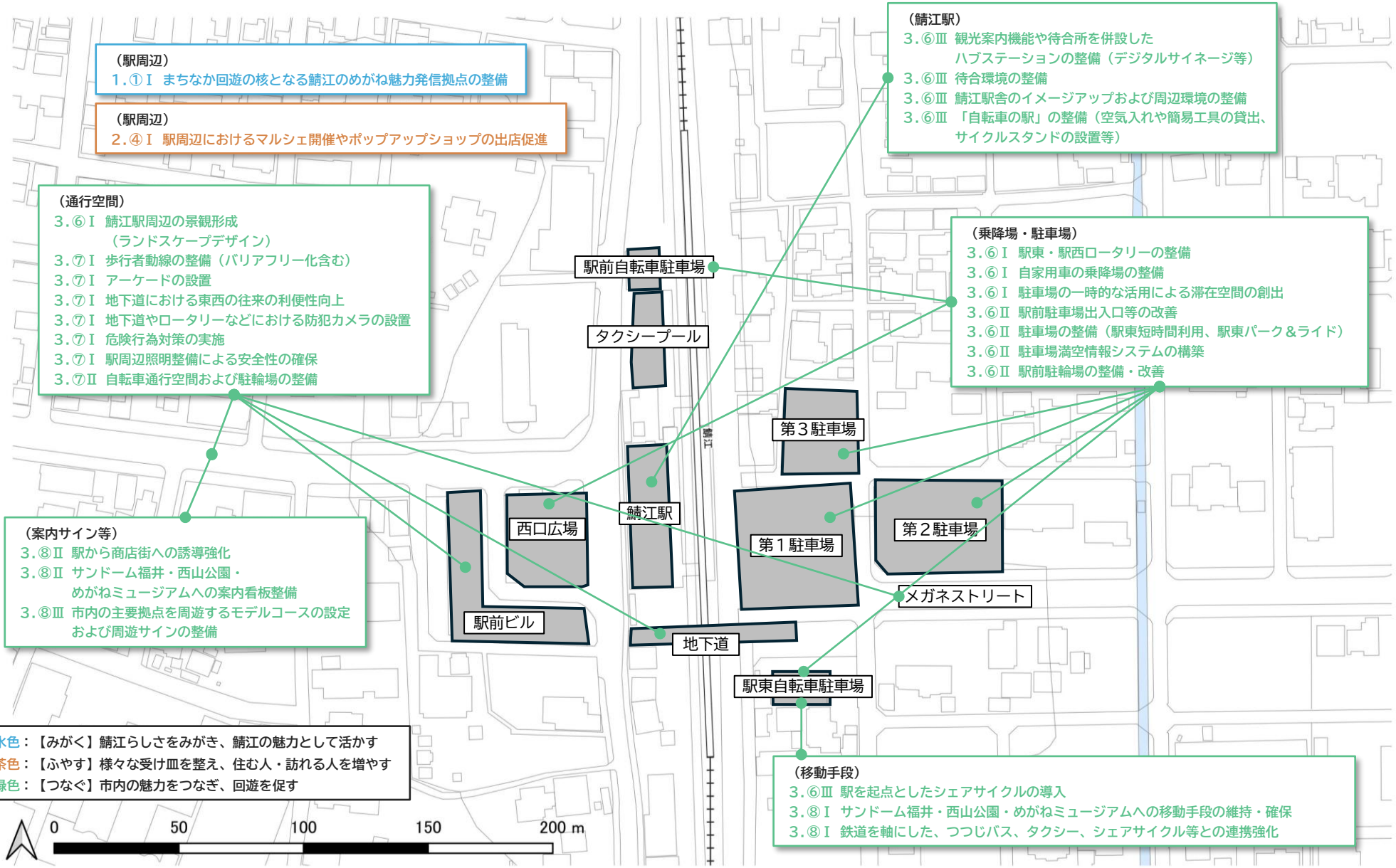
2．鯖江まちなか交流・にぎわい協議会の開催

＜分科会などで得られた主な意見：対象エリア（めがねミュージアムから西山公園に広がるエリア）＞



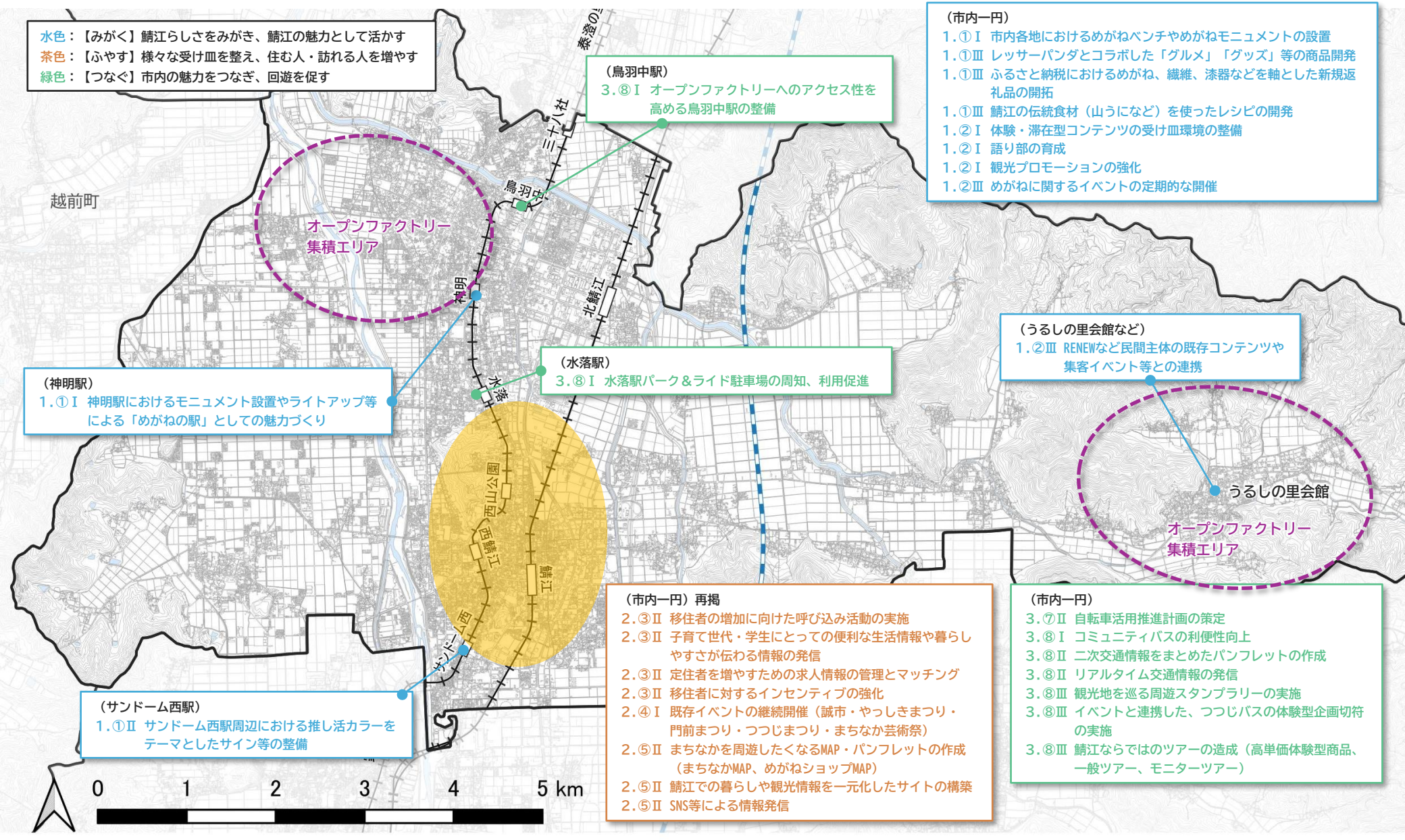
2．鯖江まちなか交流・にぎわい協議会の開催

＜分科会などで得られた主な意見：鯖江駅周辺＞



2．鯖江まちなか交流・にぎわい協議会の開催

＜分科会などで得られた主な意見：鯖江市全域＞



3．目指す将来像

鯖江ブランドをみがき・ふやし・つなぎ、笑顔あふれる「めがねのまちさばえ」

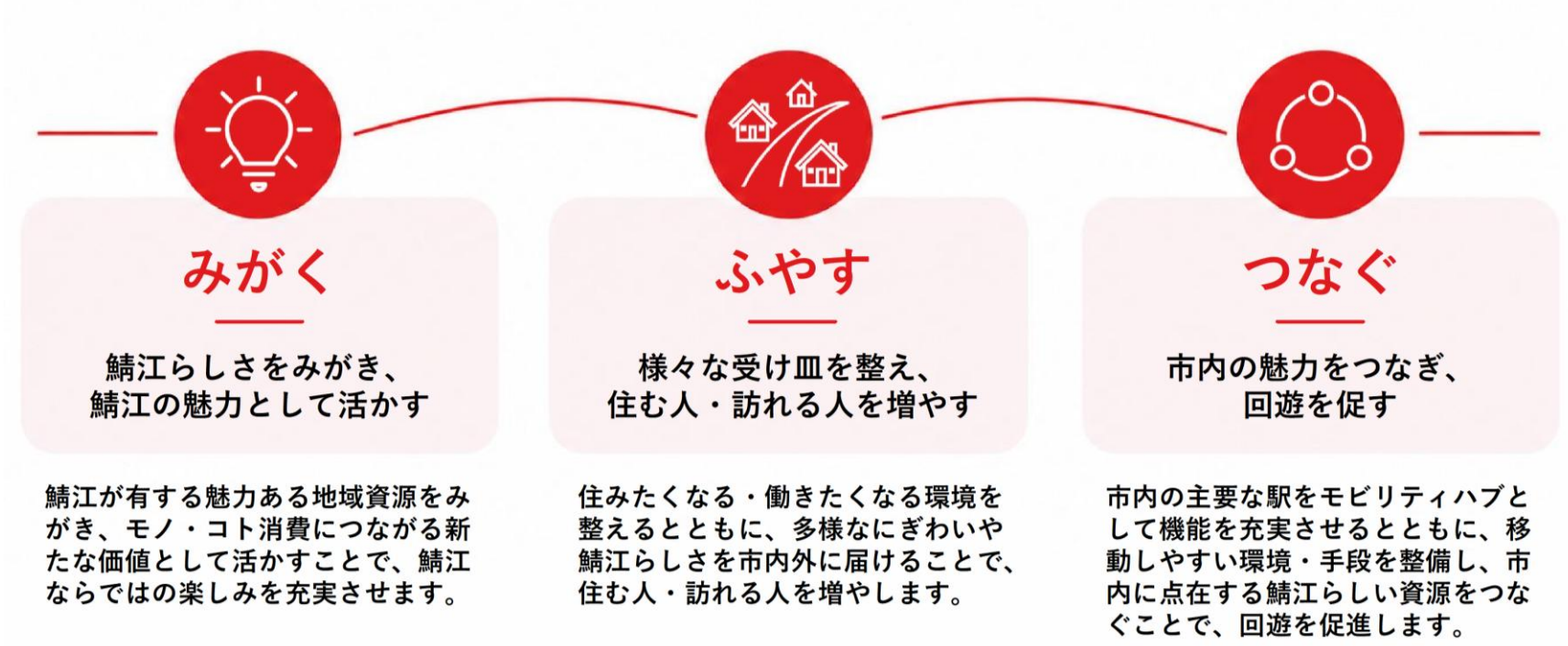
- 北陸新幹線福井・敦賀開業に伴い人の流れが変わる中、鯖江市では、市民一人ひとりが地域に愛着と誇りを持ち、地域資源の価値を共有しながら暮らし続けられるまちを目指します。そのため、本市が誇るめがね産業をはじめ、繊維産業や越前漆器などのものづくり、レッサーパンダで親しまれる西山公園・西山動物園、歴史・文化、食などの多様な地域資源を磨き上げ、それらを一体的につなぐことで、鯖江ならではの魅力を高めていきます。

- また、地域資源を「見る」だけでなく、「体験する」「学ぶ」「交流する」「購入する」といった付加価値の高いコンテンツへ発展させることで、市民の誇りや地域への愛着の醸成につなげるとともに、来訪者の満足度向上と地域経済の活性化を図ります。さらに、鯖江駅周辺や中心市街地の魅力向上、公共施設の機能充実、回遊しやすい交通環境の整備を進めることで、市民と来訪者の双方にとって快適で魅力ある滞在・交流環境を創出します。

- こうした取組を通じて、鯖江らしさを活かした独自の「鯖江ブランド」をみがき・ふやし・つなぎ、市民が誇りを持ち、事業者や地域プレーヤーの挑戦が生まれ、来訪者が何度も訪れたくなる魅力あるまちを実現します。そして、人と人とのつながりや地域との関わりが広がることで質の高いにぎわいを創出し、笑顔あふれる『めがねのまちさばえ』を目指します。

4．３つの方向性と具体的取組

- 分科会などでは、地域の将来に向けたさまざまな熱い思いや意見が数多く寄せられました。それぞれを整理した結果、「みがく」「ふやす」「つなぐ」の３つの方向性が浮かび上がってきました。
- **「みがく：鯖江らしさをみがき、鯖江の魅力として活かす」**は、鯖江が有する魅力ある地域資源をみがき、モノ・コト消費につながる新たな価値として活かすことで、鯖江ならではの楽しみを充実させます。
- **「ふやす：様々な受け皿を整え、住む人・訪れる人を増やす」**は、住みたくなる・働きたくなる環境を整えるとともに、多様なにぎわいや鯖江らしさを市内外に届けることで、住む人・訪れる人を増やします。
- **「つなぐ：市内の魅力をつなぎ、回遊を促す」**は、市内の主要な駅をモビリティハブとして機能を充実させるとともに、移動しやすい環境・手段を整備し、市内に点在する鯖江らしい資源をつなぐことで、回遊を促進します。



4．３つの方向性と具体的取組

基本方針１　【みがく】鯖江らしさをみがき、鯖江の魅力として活かす

＜目指す将来イメージ＞

五感で『鯖江らしさ』を体感でき、訪れるたびに新たな発見や体験に出会えるまち

- 鯖江駅やまちなかには、めがねをモチーフにしたベンチやモニュメントが点在し、まち歩き自体が「めがねのまち」ならではの特別な体験として楽しまれている。
- 西山公園やストリート等がレッサーパンダやテーマカラーで魅力的に演出され、子どもから大人までワクワクしながら周遊を楽しんでいる。
- レッサーパンダとのコラボグッズや山うに等の伝統食材を生かしたグルメが展開され、多くの人が鯖江ならではの食や特産品を堪能している。
- めがねや漆器、繊維などの職人技や製造工程が間近で見学でき、産業観光の拠点として多くの来訪者が感銘を受けている。
- 地域の語り部が案内する付加価値の高い体験ツアーやプログラムが充実し、鯖江の歴史・文化を深く味わう長期滞在者が増えている。
- 再整備された西山動物園や公共施設が魅力的な滞在拠点となり、市民や来訪者がゆったりと充実した時間を過ごしている。
- RENEW等のイベントと連携しためがねや漆器の制作体験が楽しめ、自分だけのオリジナル作品づくりを通して鯖江への愛着を高めている。







※イラストは、生成AIを用いて作成

4．３つの方向性と具体的取組

基本方針１　【みがく】鯖江らしさをみがき、鯖江の魅力として活かす

目標①　地域資源の磨き上げと魅力の可視化

・ 鯖江らしい地域資源を活かし、グルメや特産品、オリジナルグッズ等の商品開発を進めるとともに、「めがねのまちさばえ」を象徴するモニュメントやサイン、景観整備などにより、まち全体で鯖江らしさを感じられる空間づくりを進めます。また、めがね産業や伝統工芸、レッサーパンダなどの地域資源の魅力を掛け合わせ、ブランド力の向上や情報発信の強化を図るとともに、駅周辺やまちなかを中心に「めがねのまちさばえ」を実感できる景観やコンテンツの充実を進めることで、その魅力を市内外に分かりやすく可視化します。さらに、オープンファクトリーや工房公開などを通じて、ものづくりの現場そのものを地域の魅力として発信し、鯖江ならではの価値を高めます。

①－Ⅰ　「めがねのまちさばえ」の見える化

めがねに関するショップやめがねをモチーフにしたベンチやモニュメントの設置により、「めがねのまちさばえ」を象徴するめがねが鯖江駅周辺など市内各地で感じられるようにします。

①－Ⅱ　レッサーパンダなどのまちを象徴する魅力発信空間の整備

西山公園駅などにレッサーパンダをモチーフにしたサインを整備するなど、まちを象徴する魅力を可視化することで、鯖江らしい景観と回遊の楽しさを演出します。

①－Ⅲ　地域産品・伝統食のブランド化

鯖江ならではのモノを可視化して広くＰＲできるようレッサーパンダとのコラボ商品開発、めがね・漆器などを軸としたふるさと納税返礼品の開拓、伝統食材を使ったレシピ開発など、鯖江ならではの産品づくりを進めます。

①－Ⅳ　地場産品のものづくり工程の公開

めがねや繊維、漆器などの工房・施設と連携し、製造工程を見える化・公開することで、ものづくりのまち鯖江ならではの魅力を来訪者に伝え、産業観光の推進につなげます。

4．３つの方向性と具体的取組

基本方針１　【みがく】鯖江らしさをみがき、鯖江の魅力として活かす

目標②　体験・滞在型コンテンツの充実

・ 西山公園・西山動物園、めがねミュージアム、うるしの里会館、響陽会館、まなべの館などの観光・交流拠点において、展示や体験プログラムの充実、受入環境の改善などを進め、施設機能の充実・拡充を図ります。また、めがね・繊維・漆器などのものづくり体験や工房見学、オープンファクトリーの充実を進めるとともに、事業者や施設間の連携を強化し、鯖江ならではの体験プログラムの充実を図ります。さらに、高付加価値な体験型商品の開発や周遊ツアーの造成、地域資源を組み合わせたプログラムの充実により、鯖江ならではの体験・滞在機会を創出します。あわせて、観光案内や予約・情報発信機能の充実、多様な主体が連携した受入体制の強化を進めることで、来訪者が安心して市内を周遊できる環境を整えます。こうした取組により、来訪者がまちなかや市内各地を巡りながら楽しめる仕組みづくりを進め、滞在時間や満足度の向上を図るとともに、消費拡大につながる質の高い観光・交流を実現します。

②－Ⅰ　体験・滞在型コンテンツにおける受入れ体制の強化

市内体験・滞在型コンテンツの受け皿環境の整備や案内する語り部等の人材育成、観光プロモーションの強化に取り組むなど、体制の強化を図ります。

②－Ⅱ　公共施設（響陽会館、西山公園・西山動物園、まなべの館など）における機能の充実・拡充

レッサーパンダで親しまれる西山動物園を再整備するほか、響陽会館やまなべの館などの公共施設の機能を向上させることで、来訪者にとって魅力的で滞在価値の高い観光拠点としての機能を高めます。

②－Ⅲ　ものづくり体験の充実・連携

めがね・繊維・漆器の制作体験の実施や、RENEWなど民間主体の既存コンテンツや集客力のあるめがねフェスや鯖江つつじマラソン等との連携を進め、鯖江ならではのものづくり体験を充実させます。

4．３つの方向性と具体的取組

基本方針２　【ふやす】様々な受け皿を整え、住む人・訪れる人を増やす

＜　目指す将来イメージ　＞

美しいまちなみと挑戦が創出され、住む人も訪れる人も心地よく過ごすことができる賑わいあるまち

- ガイドラインに基づいた統一感と美しいまちなみが形成され、居心地良くゆったりと歩きたくなる空間が広がっている。
- 歴史ある空き店舗が新しいショップや職住一体の拠点として再生し、子育て世代や若者が生き生きと働き・暮らしている。
- 駅周辺などで定期的にマルシェやイベントが開催され、市民や観光客が日常的に集い、賑やかで温かな交流が生まれている。
- 民間主導のまちづくり会社が魅力的な事業やサービスを継続的に展開し、地域全体が活気づいている。
- 鯖江のめがねや地場産品が一堂に揃うアンテナショップが賑わい、鯖江ブランドの高品質な魅力を直接手に取って体感できている。
- まちなかMAPやSNS・観光サイトを通じた情報発信により、来訪者が迷うことなく目的のスポットへ足を延ばし、楽しんでいる。







※イラストは、生成AIを用いて作成

4．３つの方向性と具体的取組

基本方針２　【ふやす】様々な受け皿を整え、住む人・訪れる人を増やす

目標③　地域の統一感を持ち、商業・居住の受け皿となる都市空間の形成

- 市民が主体となって地域ごとの景観やまちづくりの将来像を描き、その方向性を地域で共有します。さらに、市民や地域の事業者が空き家・空き店舗の活用に取り組み、働く場や住まいを地域のニーズに応じて生み出すことで、商業と居住を支える魅力ある都市空間をつくります。

③－Ⅰ　鯖江らしいまちなみ景観の形成

景観ガイドラインを作成し、市の特色を活かした統一感のある景観形成を市民と共有しながら進めます。

③－Ⅱ　空き家・空き店舗等を活用した移住・定住及び仕事への支援

まちなかの空き家・空き店舗の情報を一元管理・発信し、活用希望者とのマッチングを支援するとともに、歴史ある空き店舗を活用した新店舗の誘致や職住一体のモデル創出を進めます。鯖江市内に「住みたくなる・働きたくなる」環境づくりを進めるため、子育て世代・学生などに向けた便利な生活情報や暮らしやすさが伝わる発信を行うとともに、求人マッチングなどに取り組みます。

目標④：多様なにぎわいを生み出す仕掛けの創出

- 民間主導によるまちづくりを加速するため、まちづくり会社をはじめ、事業者、市民、各種団体など、多様な主体がそれぞれの強みを生かして取り組む体制づくりを進めます。既存店舗のリニューアルや新規出店による日常的なにぎわいに加え、マルシェやライトアップなどのイベントによる非日常的なにぎわいも創出し、さまざまな手法を組み合わせながら、まちの魅力と活力を高めます。

④－Ⅰ　日常・非日常における交流機会の創出や定期開催

マルシェの開催やポップアップショップの出店や誠市・やっしきまつり・門前まつり・つつじまつり・まちなか芸術祭等の既存イベントを継続的に行うことで、日常的なにぎわいを創出し、まちなかへの人の流れを生み出します。

④－Ⅱ　にぎわいを生み・支える民間主導まちづくり会社の設立支援

民間主導によるまちづくり会社や組織の設立や活動を支援し、行政に依存しない持続的なにぎわいづくりの仕組みを構築します。

4．３つの方向性と具体的取組

基本方針２　【ふやす】様々な受け皿を整え、住む人・訪れる人を増やす

目標⑤：市内外へ鯖江ブランドを届ける発信力の強化

- 鯖江ブランドを市内外へ広く届けるため、地場産品を手に取り購入できるショップなどの充実を図るとともに、まちなかMAPやめがねショップMAPの作成、鯖江での暮らしや観光情報を一元化したウェブサイトの構築、SNSをはじめとする多様な媒体での情報発信を進めます。

⑤－Ⅰ　鯖江ブランドを手に取る機会の創出

めがねや漆器、お土産品などが購入できるアンテナショップを設置し、鯖江ブランドの魅力を市内外に直接届けます。

⑤－Ⅱ　多様な媒体を活用した情報発信

パンフレットや周遊MAP、まちなかMAP、めがねショップをまとめたMAPなどを作成・更新し、来訪者が市内を周遊しやすい情報環境を整えます。
観光サイトやホームページの構築・更新、SNS等による発信など、デジタルを活用した情報発信を強化します。

4．３つの方向性と具体的取組

基本方針３　【つなぐ】市内の魅力をつなぎ、回遊を促す

＜　目指す将来イメージ　＞

多様な移動がスムーズにつながり、まち巡りの楽しさがあふれるまち

- 鯖江駅の東西ロータリーが整備され、公共交通や送迎の乗り降りがスムーズに行える快適な玄関口となっている。
- 満空情報システムや短時間利用駐車場、駐輪場が整い、車や自転車での駅利用や周辺散策が便利に行われている。
- 観光案内機能やシェアサイクルを備えた待合ステーションが活用され、到着後すぐに市内各地へスムーズに移動できている。
- バリアフリー化された歩行動線や明るい照明、アーケードが整い、昼夜を問わず子どもや高齢者も安心して街を散策できている。
- 自転車通行空間や駐輪環境が整備され、市民や来訪者が風を感じながら快適に自転車でまちを巡っている。
- つつじバスやタクシー、鉄道との連携がスムーズに行われ、サンドーム福井やめがねミュージアムへストレスなく移動できている。
- 駅からの分かりやすい誘導看板やリアルタイムの交通情報により、来訪者が戸惑うことなく次の目的地へ移動できている。
- 鯖江駅・西山公園・神明駅などを巡るモデルコースや体験型企画切符を楽しみながら、多くの人が市内各地を周遊している。







※イラストは、生成AIを用いて作成

4．３つの方向性と具体的取組

基本方針３　【つなぐ】市内の魅力をつなぎ、回遊を促す

目標⑥　様々な移動を支えるモビリティハブの確立

- 市内の主要駅をモビリティハブとして整備することで、来訪者には鯖江に関する情報収集や市内回遊を支え、市民には市外へのアクセス環境と日常的に憩える場を提供します。

⑥－Ⅰ　鯖江駅における東西交通広場の整備

鯖江駅の東西ロータリーや乗降場を整備し、来訪者や市民がスムーズに乗り降りできる交通結節点としての機能を確立します。

⑥－Ⅱ　鯖江駅における駐車・駐輪環境の整備

鯖江駅周辺の駐車場出入口の改善、駐車場整備、満空情報システムの構築などにより、快適な駐車環境と駅前景観を整えます。

⑥－Ⅲ　鯖江駅のモビリティ・ハブステーション化

駅前駐輪場や観光案内機能、待合環境、自転車の駅などを整備し、来訪者・市民双方にとって利用しやすいモビリティハブ機能を高めます。

目標⑦：安全で快適な歩行・自転車移動環境の整備

- 市内の主要駅（モビリティハブ）と周辺の目的地となる施設等の動線について、歩行者・自転車の視点も取り入れて整備・改善することで、安全で快適な移動環境を確保します。

⑦－Ⅰ　鯖江駅における安全・快適な歩行空間整備

歩行者動線のバリアフリー化やアーケード設置のほか、地下道バリアフリー化や防犯カメラの設置、危険行為の対策などにより、安全で快適な歩行環境を確保します。また、駅周辺における照明の整備により、夜間でも安全に回遊できる歩行空間を確保します。

⑦－Ⅱ　自転車利用環境の基盤整備

自転車活用推進計画の策定や、自転車通行空間・駐輪場の整備を進め、自転車で移動しやすいまちなか環境を整えます。

4．３つの方向性と具体的取組

基本方針３　【つなぐ】市内の魅力をつなぎ、回遊を促す

目標⑧：市内の回遊を促す仕掛けの創出

- コミュニティバスやシェアサイクルなどの移動手段を充実させるとともに、交通事業者や商店街などと連携した周遊コースの設定および周遊チケットの導入など、回遊自体に付加価値を持たせることで、市内の回遊を促進します。

⑧－Ⅰ　回遊性を高める移動手段の利便性向上

サンドーム福井や西山公園、めがねミュージアムへの移動手段の維持・確保、つつじバスやタクシーとの連携強化などにより、移動手段の利便性向上を図ります。また、オープンファクトリーへのアクセスを高める鳥羽中駅の整備や、水落駅パーク＆ライド駐車場の周知・利用促進を図り、市内周辺駅の機能を充実させます。

⑧－Ⅱ　回遊案内・交通情報発信

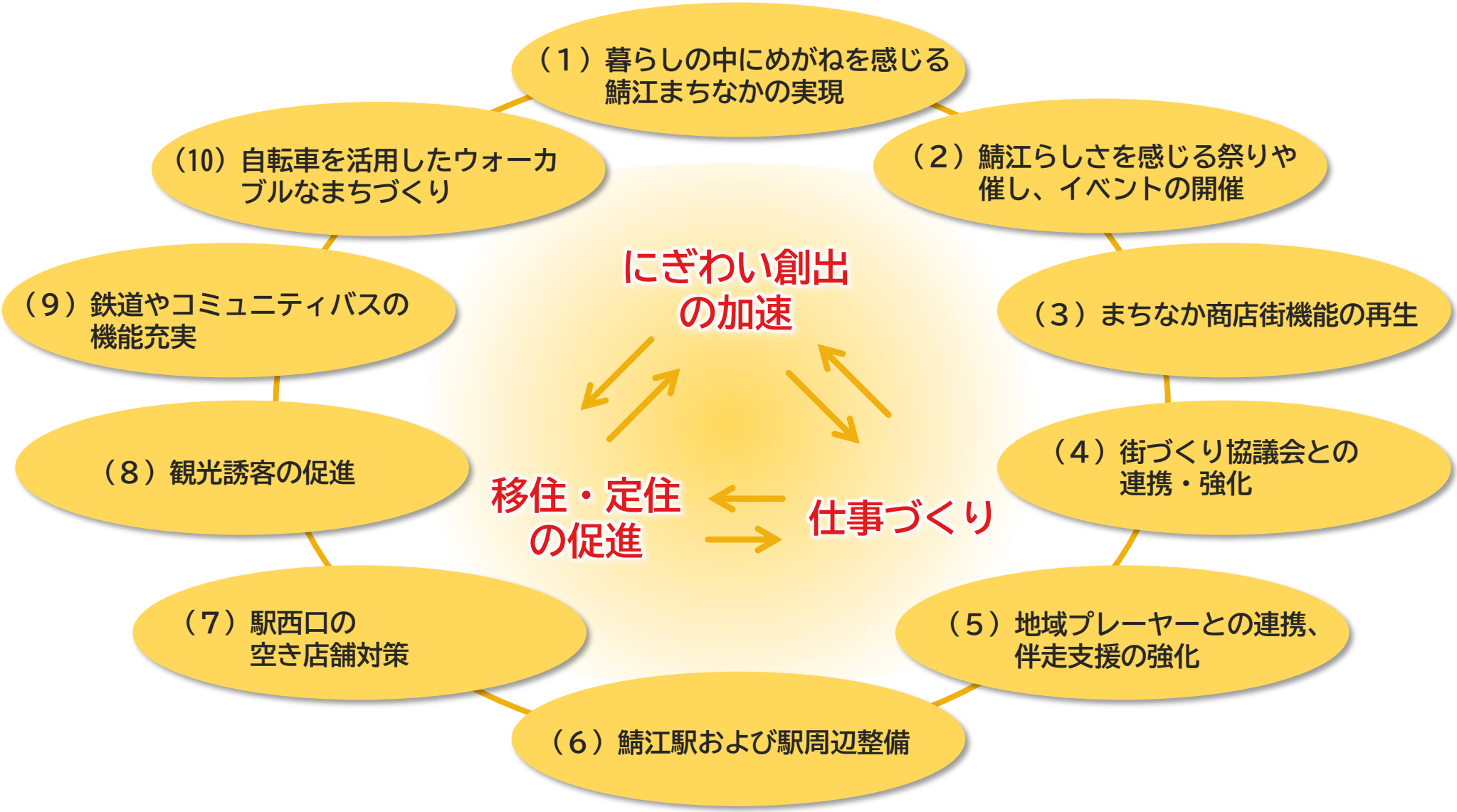
二次交通情報のパンフレット作成や駅から商店街への誘導強化、案内看板の整備、リアルタイム交通情報の発信により、来訪者の回遊を後押しします。

⑧－Ⅲ　周遊コース・イベント造成

市内の主要拠点を巡るモデルコースや周遊サインの整備、スタンプラリーの実施のほか、市内各種産業と連携し、高単価体験型商品の造成やツアーの造成強化、モニターツアーの実施を通じて、鯖江ならではの記憶に残る体験を提供し、市内回遊に楽しみと付加価値を持たせ、来訪者の満足度と消費単価の向上を図ります。

5．にぎわい創出を加速する今後５年間の重点項目

- 前章で整理した「みがく」「ふやす」「つなぐ」の３つの方向性に沿った具体的な取組を後押しし、にぎわい創出を加速するため、協議会として今後５年間に重点的に進める必要があると考える10の項目を示します。



5．にぎわい創出を加速する今後５年間の重点項目

（１）暮らしの中にめがねを感じる鯖江まちなかの実現

①－１、①－Ⅳ、②－Ⅲ、⑤－Ⅰ

- 鯖江の唯一無二の地域資源である「めがね」を前面に押し出した環境づくりを進めるため、眼鏡産業とまちなかで活動する多様なプレーヤーが連携し、「めがねのまちさばえ」の魅力発信と回遊促進の拠点づくりを進めることで、来訪者の回遊と滞在時間の延伸によるにぎわい創出を図ります。
- めがねストリートの魅力向上を図るとともに、眼鏡をモチーフとしたベンチやモニュメントの設置を進めるほか、まちなかへの眼鏡工房や関連ショップの集積を促進し、産業と暮らし、観光がつながる「めがねのまちさばえ」を体感できる空間を創出します。

（２）鯖江らしさを感じる祭りや催し、イベントの開催

④－Ⅰ

- 鯖江のまちなかでは、祭りや催し、イベントが盛んに開催されている強みを活かし、様々な地域プレーヤーとの連携や市民協働により、四季を通じてイベントを充実させることで来訪者の増加を図ります。（春：つつじまつり、夏：やっしき・門前まつり、秋：音楽イベント、冬：西山イルミネーション　など）
- 地域住民の理解促進や交通渋滞対策、駐車場の確保など、来訪者の受入環境整備を官民連携で進めます。

（３）まちなか商店街機能の再生

③－Ⅰ、③－Ⅱ、⑦－Ⅰ

- まちなかの商店街機能の再生・強化を図るため、既存商業者への支援に加え、多様なプレーヤーによる店舗の改装・改修やリノベーション、新規出店、テナントミックスを促進します。
- 来訪者がまちなかに回遊してもらえるよう、統一感のあるまちなみや景観の形成に向け、店舗ファサードやアーケードの改修、歩行者動線の確保を進めるとともに、まちづくり組織の体制強化・再生に向けた専門家の伴走支援を実施します。

（４）街づくり協議会との連携・強化

③－Ⅱ、④－Ⅱ

- 鯖江まちなかの再生・活性化に取り組む街づくり協議会との連携を強化し、協議会が進めるまちなかの空き家の改修、利活用を支援します。あわせて、若者の移住・定住を促進する施策の展開に協力し、まちなか居住の推進を図るとともに、将来的なまちづくり会社の設立を支援します。
- 空き家等を活用した工房や事業所、企業の社宅、お試し移住・定住施設などの整備を促進し、まちなかで働き、暮らす人の増加を図ります。

5．にぎわい創出を加速する今後５年間の重点項目

（５）地域プレーヤーとの連携、伴走支援の強化

②－Ⅱ、⑤－Ⅱ

- サンドーム福井をはじめ、令和10年秋リニューアル予定の響陽会館、西山公園・西山動物園、まなべの館など、駅や中心部に立地する集客施設とのまちなかの連携を強化し、回遊性の向上を図る。あわせて、多様な地域プレーヤーとの協働により、面的なにぎわいの創出を推進します。
- まちなかのにぎわい創出には市民参画が欠かせないため、地域プレーヤーの活動を後押しする体制を構築します。

（６）鯖江駅および駅周辺整備

⑥－Ⅰ、⑥－Ⅱ、⑥－Ⅲ

- 駅周辺の交通渋滞の緩和や駐車スペースの確保、駅東側広場の機能充実などを進め、訪れやすく利用しやすい鯖江駅とその周辺環境の整備を推進します。
- 鯖江駅周辺の景観向上やライトアップの実施などにより、魅力的で快適な駅前空間を創出します。
- 多言語サインやデジタル案内の充実、キャッシュレス決済への対応、トイレや休憩施設の整備を進め、鯖江駅がモビリティハブとなることで、来訪者の利便性向上を図ります。

（７）駅西口の空き店舗対策

③－Ⅱ

- 鯖江駅西側の民間商業施設（Ｂ棟）の空き店舗対策を強化し、施設の魅力向上とにぎわい創出を図ります。
- 特に駅前のにぎわい創出に向け、話題性や集客力のある飲食・喫茶機能の導入を促進し、ビルオーナーや民間事業者と連携しながら鯖江駅玄関口の集客機能を強化することで、人の往来と滞留の創出を図ります。

（８）観光誘客の促進

①－Ⅱ、①－Ⅲ、②－Ⅰ、⑧－Ⅲ

- （一社）鯖江観光協会は、体制強化を図るとともに、定期的なイベントの開催やレッサーパンダを活用した企画・ツアーの造成などを通じて、鯖江市の魅力発信と交流人口の拡大、鯖江ファンの獲得に向けたマーケティング・プロモーションを展開します。
- 体験型観光コンテンツの充実や語り部ガイドの活用などにより、受入体制の強化と滞在時間の延伸を図ります。
- オープンファクトリーの開催や産業見学プログラムの充実など産業観光の担い手との連携を強化するとともに、鯖江駅周辺に留まらず、神明や河和田など市内全域の強みを活かした誘客強化を図るため、RENEWをはじめとする市内の大型集客イベントとの連携を推進し、鯖江ならではの観光資源の磨き上げと観光誘客、まちなかへの回遊を促進します。

5．にぎわい創出を加速する今後５年間の重点項目

（９）鉄道やコミバスの機能充実

⑧－Ⅰ、⑧－Ⅱ

- 鉄道事業者との連携を強化し、駅を起点とした誘客や回遊促進、利便性向上に取り組みます。
- つつじバスの機能強化を図るため、循環線の運行充実や郊外路線との結節強化を進め、買い物や通院などの日常利用に便利な低料金の移動手段として利便性向上を図ります。

（10）自転車を活用したウォーカブルなまちづくり

⑦－Ⅱ

- 鯖江駅と中心市街地、駐車場を有する公共施設との回遊性向上を図ります。また、（一社）鯖江観光協会と連携し、シェアサイクルの利用環境の充実を進めることで、徒歩や自転車との組み合わせにより、回遊できる距離を広げます。
- 鯖江市自転車活用推進計画を策定し、自転車を活用した回遊性の向上を図るとともに、安全・安心に利用できる自転車利用環境の整備を推進します。

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

6．推進体制

＜考え方＞ 鯖江の強みは、まちなかに多様なプレーヤーが数多く存在することです。そうしたプレーヤーの意欲や挑戦を形にするため、鯖江商工会議所、（一社）鯖江観光協会、鯖江市が連携し、発掘・育成から事業実現までを伴走支援する体制「さばえまちなかBASE」（仮称）を設け、官民が連携し持続可能なまちづくりを推進します。

鯖江まちなか交流・にぎわい協議会

方針決定・重点プロジェクト決定

幹事会で進捗管理

▼

さばえまちなかBASE（仮称）

官民共同の実行支援組織｜プレーヤーではなく「黒子」

組織構成（案）	市（制度・庁内調整）｜商工会議所（経営・創業）｜観光協会（誘客・発信）｜民間人材（企画・伴走）学識経験者
主な業務	相談・プレーヤー発掘／案件ごとにリーダーを設定し、外部専門家とチームを組んで伴走支援／空き店舗・人材・資金のマッチング／行政手続・制度接続／実証・事業化支援

▼ 支える

地域プレーヤー ＝ 実行する主役

商業者・企業・若者・学生・クリエイター・NPO・不動産等

7．まとめ

◆ 対話を力に、「めがねのまち鯖江」を育む

鯖江の強みは、めがね・繊維・漆器のものづくり、西山公園・西山動物園、歴史文化や食、そして市民主役の活動です。人口減少・少子高齢化や施設の老朽化に向き合いながら、北陸新幹線福井・敦賀開業を契機とする広域交流の機会を活かします。
私たち協議会は、昨年11月の設立以来、市民や関係者と対話を重ね、課題と願いを共有してきました。知恵と力を結集して方策を練り上げてきました。産業への誇りをまちの魅力として育み、「鯖江ブランド」を高めることが、本プログラムの基盤です。

◆ 産業観光と交通を結び、にぎわいを市内全域へ

「みがく」「ふやす」「つなぐ」のもと、工房・店舗やまちなみを通じて「めがねのまち鯖江」を日常でも旅先でも実感できる環境をつくります。職人の技に触れる産業観光を飲食・宿泊へ広げ、体験の満足度を滞在・消費・再訪につなげます。鯖江駅の交通・交流機能を高め、公共交通や自転車で各地の資源を結び、市民の暮らしと来訪者の回遊を支えます。公共施設の改修と核となる拠点整備を呼び水に、既存店舗の再生や新規出店、民間投資を促し、その効果を市内全域へ波及させます。

◆ 挑戦を事業に育て、５年間で着実に実行

地域の「やってみたい」に寄り添い、資金・物件・人材を結び、構想から実証、事業化まで伴走します。新たな担い手を迎え、民間主体でまちを運営する基盤を築きます。今後５年間、各団体が役割を果たし、市民や企業、国・県と目標・工程を共有して、優先順位を定めて実行します。分野を超えた協働で、地域の強みを活かす「鯖江モデル」を育て、地方創生を進めます。

◆ 一人ひとりが「わがこと」として、未来をつくる

まちづくりの正解は一つではなく、終わりもありません。成果と課題を確かめ、環境の変化や新たな提案に応じてプログラムを見直します。学びと研鑽を重ね、試行錯誤を恐れず、５年後も努力を続けます。一人ひとりが「わがこと」と捉え、できることを持ち寄ることが、よりよい鯖江への一助となることを期待します。私たちは皆さんとともに、市民が誇りを持ち、次の世代に引き継ぎたいと思えるまちをつくり続けます。

【具体的取組の内容】

具体的取組の内容

基本方針１　【みがく】鯖江らしさをみがき、鯖江の魅力として活かす

目標①　地域資源の磨き上げと魅力の可視化

①ーⅠ　「めがねのまちさばえ」の見える化

- めがねに関するショップやめがねをモチーフにしたベンチやモニュメントの設置により、「めがねのまちさばえ」を象徴するめがねが鯖江駅周辺など市内各地で感じられるようにします。

具体的取組　関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
訪 まちなか回遊の核となる鯖江のめがね魅力発信拠点の整備	眼鏡協会			■	■	■
訪 メガネストリート等のまちなみ景観の魅力向上に向けた整備	鯖江市、民間事業者		■	■	■	
訪 神明駅におけるモニュメント設置やライトアップ等による「めがねの駅」としての魅力づくり	鯖江市、交通事業者		■	■		
訪 市内各地におけるめがねベンチやめがねモニュメントの設置	鯖江市、民間事業者	■	■	■	■	■

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針１　【みがく】鯖江らしさをみがき、鯖江の魅力として活かす

目標①　地域資源の磨き上げと魅力の可視化

①－Ⅱ　レッサーパンダなどのまちを象徴する魅力発信空間の整備

- 西山公園駅などにレッサーパンダをモチーフにしたサインを整備するなど、まちを象徴する魅力を可視化することで、鯖江らしい景観と回遊の楽しさを演出します。

具体的取組　関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
訪 サンドーム西駅周辺における推し活カラーをテーマとしたサイン等の整備	鯖江市、交通事業者					
訪 レッサーパンダストリートの設定およびベンチの整備	鯖江市、民間事業者					
訪 西山公園駅の「レッサーパンダ駅」整備	鯖江市、交通事業者					

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針１　【みがく】鯖江らしさをみがき、鯖江の魅力として活かす

目標①　地域資源の磨き上げと魅力の可視化

①－Ⅲ　地域産品・伝統食のブランド化

- 鯖江ならではのモノを可視化して広くＰＲできるようレッサーパンダとのコラボ商品開発、めがね・漆器などを軸としたふるさと納税返礼品の開拓、伝統食材を使ったレシピ開発など、鯖江ならではの産品づくりを進めます。

具体的取組　関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
訪 レッサーパンダとコラボした「グルメ」「グッズ」等の商品開発	商工会議所、観光協会、民間事業者					
訪 ふるさと納税におけるめがね、繊維、漆器などを軸とした新規返礼品の開拓	商工会議所、観光協会、民間事業者、鯖江市					
住 鯖江の伝統食材（山うになど）を使ったレシピの開発	商工会議所、観光協会、民間事業者					

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針１　【みがく】鯖江らしさをみがき、鯖江の魅力として活かす

目標①　地域資源の磨き上げと魅力の可視化

①－Ⅳ　地場産品のものづくり工程の公開

- めがねや繊維、漆器などの工房・施設と連携し、製造工程を見える化・公開することで、ものづくりのまち鯖江ならではの魅力を来訪者に伝え、産業観光の推進につなげます。

具体的取組　関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
訪 工房・施設と連携した製造工程の見える化・公開	商工会議所、民間事業者					

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針１　【みがく】鯖江らしさをみがき、鯖江の魅力として活かす

目標②　体験・滞在型コンテンツの充実

②－Ⅰ　体験・滞在型コンテンツにおける受入れ体制の強化

- 市内体験・滞在型コンテンツの受け皿環境の整備や案内する語り部等の人材育成、観光プロモーションの強化に取り組むなど、体制の強化を図ります。

具体的取組　関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
訪 体験・滞在型コンテンツの受け皿環境の整備	観光協会、民間事業者					
訪 語り部の育成	観光協会					
訪 観光プロモーションの強化	観光協会、商工会議所、鯖江市					

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針１　【みがく】鯖江らしさをみがき、鯖江の魅力として活かす

目標②　体験・滞在型コンテンツの充実

②－Ⅱ　公共施設（響陽会館、西山公園・西山動物園、まなべの館など）における機能の充実・拡充

- レッサーパンダで親しまれる西山動物園を再整備するほか、響陽会館やまなべの館などの公共施設の機能を向上させることで、来訪者にとって魅力的で滞在価値の高い観光拠点としての機能を高めます。

具体的取組 関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
訪 響陽会館の再整備・機能向上	鯖江市					
訪 西山公園・西山動物園の再整備・機能向上	鯖江市					
訪 まなべの館の機能充実に向けた検討	鯖江市					

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針１　【みがく】鯖江らしさをみがき、鯖江の魅力として活かす

目標②　体験・滞在型コンテンツの充実

②－Ⅲ　ものづくり体験の充実・連携

- めがね・繊維・漆器の制作体験の実施や、RENEWなど民間主体の既存コンテンツや集客力のあるめがねフェスや鯖江つつじマラソン等との連携を進め、鯖江ならではのものづくり体験を充実させます。

具体的取組 関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
訪 めがね、繊維、漆器の制作体験の実施	観光協会、業界団体、民間事業者					
訪 RENEWなど民間主体の既存コンテンツや集客イベント等との連携	観光協会、業界団体、民間事業者					
訪 めがねに関するイベントの定期的な開催	観光協会、眼鏡協会					

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針２　【ふやす】様々な受け皿を整え、住む人・訪れる人を増やす

目標③　地域の統一感を持ち、商業・居住の受け皿となる都市空間の形成

③－Ⅰ　鯖江らしいまちなみ景観の形成

- 景観ガイドラインを作成し、市の特色を活かした統一感のある景観形成を市民と共有しながら進めます。

具体的取組 関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
住訪 景観ガイドラインの作成、市の特色を活かした景観づくり	鯖江市、商工会議所					

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針２　【ふやす】様々な受け皿を整え、住む人・訪れる人を増やす

目標③　地域の統一感を持ち、商業・居住の受け皿となる都市空間の形成

③－Ⅱ　空き家・空き店舗等を活用した移住・定住及び仕事への支援

- まちなかの空き家・空き店舗の情報を一元管理・発信し、活用希望者とのマッチングを支援するとともに、歴史ある空き店舗を活用した新店舗の誘致や職住一体のモデル創出を進めます。
- 鯖江市内に「住みたくなる・働きたくなる」環境づくりを進めるため、子育て世代・学生などに向けた便利な生活情報や暮らしやすさが伝わる発信を行うとともに、求人マッチングなどに取り組みます。

具体的取組　関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
働住 空き家・空き店舗の情報の収集による一元管理と発信、活用希望者とのマッチング	商工会議所、民間事業者					
働 にぎわい創出につながる新店舗の誘致	商工会議所、民間事業者、鯖江市					
働 駅周辺空きテナントの活用	商工会議所、民間事業者、鯖江市					
働住 空き家・空き店舗に対する改修促進	商工会議所、民間事業者、鯖江市					
住 移住者の増加に向けた呼び込み活動の実施	商工会議所、民間事業者					
住 子育て世代・学生にとっての便利な生活情報や暮らしやすさが伝わる情報の発信	鯖江市、民間事業者					
働 定住者を増やすための求人情報の管理とマッチング	商工会議所、鯖江市					
住 移住者に対するインセンティブの強化	鯖江市、民間事業者					

具体的取組の内容

基本方針２　【ふやす】様々な受け皿を整え、住む人・訪れる人を増やす

目標④　多様なにぎわいを生み出す仕掛けの創出

④－Ⅰ　日常・非日常における交流機会の創出や定期開催

- マルシェの開催やポップアップショップの出店や誠市・やっしきまつり・門前まつり・つつじまつり・まちなか芸術祭等の既存イベントを継続的に行うことで、日常的なにぎわいを創出し、まちなかへの人の流れを生み出します。

具体的取組　関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
住訪 駅周辺におけるマルシェ開催やポップアップショップの出店促進	観光協会、民間事業者					
住訪 既存イベントの継続開催（誠市・やっしきまつり・門前まつり・つつじまつり・まちなか芸術祭）	観光協会、商工会議所、鯖江市					
住訪 歴史文化芸術資源を活用した回遊・交流創出社会実験	鯖江市、民間事業者					

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針２　【ふやす】様々な受け皿を整え、住む人・訪れる人を増やす

目標④　多様なにぎわいを生み出す仕掛けの創出

④－Ⅱ　にぎわいを生み・支える民間主導まちづくり会社の設立支援

- 民間主導によるまちづくり会社や組織の設立や活動を支援し、行政に依存しない持続的なにぎわいづくりの仕組みを構築します。

具体的取組　関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
働 民間主導によるまちづくり会社や組織の設立・活動の支援	商工会議所、鯖江市					

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針２　【ふやす】様々な受け皿を整え、住む人・訪れる人を増やす

目標⑤　市内外へ鯖江ブランドを届ける発信力の強化

⑤－Ⅰ　鯖江ブランドを手に取る機会の創出

- めがねや漆器、お土産品などが購入できるアンテナショップを設置し、鯖江ブランドの魅力を市内外に直接届けます。

具体的取組　関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
訪 地場産品が購入できるショップ等の設置	観光協会、民間事業者					

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針２　【ふやす】様々な受け皿を整え、住む人・訪れる人を増やす

目標⑤　市内外へ鯖江ブランドを届ける発信力の強化

⑤－Ⅱ　多様な媒体を活用した情報発信

- パンフレットや周遊MAP、まちなかMAP、めがねショップをまとめたMAPなどを作成・更新し、来訪者が市内を周遊しやすい情報環境を整えます。
- 観光サイトやホームページの構築・更新、SNS等による発信など、デジタルを活用した情報発信を強化します。

具体的取組　関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
訪　まちなかを周遊したくなるMAP・パンフレットの作成（まちなかMAP、めがねショップMAP）	観光協会、眼鏡協会、鯖江市					
住訪　鯖江での暮らしや観光情報を一元化したサイトの構築	観光協会、商工会議所、鯖江市					
住訪　SNS等による情報発信	観光協会					

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針３　【つなぐ】市内の魅力をつなぎ、回遊を促す

目標⑥　様々な移動を支えるモビリティハブの確立

⑥－Ⅰ　鯖江駅における東西交通広場の整備

- 鯖江駅の東西ロータリーや乗降場を整備し、来訪者や市民がスムーズに乗り降りできる交通結節点としての機能を確立します。

具体的取組　関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
住訪 駅東・駅西ロータリーの整備	鯖江市					
住訪 自家用車の乗降場の整備	鯖江市					
住訪 鯖江駅周辺の景観形成（ランドスケープデザイン）	鯖江市					
住訪 駐車場の一時的な活用による滞在空間の創出	鯖江市					

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針３　【つなぐ】市内の魅力をつなぎ、回遊を促す

目標⑥　様々な移動を支えるモビリティハブの確立

⑥－Ⅱ　鯖江駅における駐車・駐輪環境の整備

- 鯖江駅周辺の駐車場出入口の改善、駐車場整備、満空情報システムの構築などにより、快適な駐車環境と駅前景観を整えます。

具体的取組　関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
住訪 駅前駐車場出入口等の改善	鯖江市					
住訪 駐車場の整備（駅東短時間利用、駅東パーク＆ライド）	鯖江市					
住訪 駐車場満空情報システムの構築	鯖江市					
住訪 駅前駐輪場の整備・改善	鯖江市					

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針３　【つなぐ】市内の魅力をつなぎ、回遊を促す

目標⑥　様々な移動を支えるモビリティハブの確立

⑥－Ⅲ　鯖江駅のモビリティ・ハブステーション化

- 駅前駐輪場や観光案内機能、待合環境、自転車の駅などを整備し、来訪者・市民双方にとって利用しやすいモビリティハブ機能を高めます。

具体的取組　関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
訪　観光案内機能や待合所を併設したハブステーションの整備（デジタルサイネージ等）	観光協会、鯖江市					
住訪　待合環境の整備	鯖江市					
住訪　鯖江駅舎のイメージアップおよび周辺環境の整備	鯖江市、交通事業者					
訪　「自転車の駅」の整備（空気入れや簡易工具の貸出、サイクルスタンドの設置等）	観光協会、鯖江市					
住訪　駅を起点としたシェアサイクルの導入	観光協会、鯖江市					

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針３　【つなぐ】市内の魅力をつなぎ、回遊を促す

目標⑦　安全で快適な歩行・自転車移動環境の整備

⑦－Ⅰ　鯖江駅における安全・快適な歩行空間整備

- 歩行者動線のバリアフリー化やアーケード設置のほか、地下道バリアフリー化や防犯カメラの設置、危険行為の対策などにより、安全で快適な歩行環境を確保します。
- また、駅周辺における照明の整備により、夜間でも安全に回遊できる歩行空間を確保します。

具体的取組　関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
住訪 歩行者動線の整備（バリアフリー化含む）	鯖江市					
住訪 アーケードの設置	鯖江市					
住訪 地下道における東西の往来の利便性向上	鯖江市					
住訪 地下道やロータリーなどにおける防犯カメラの設置	鯖江市					
住訪 危険行為対策の実施	鯖江市					
住訪 駅周辺照明整備による安全性の確保	鯖江市					

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針３　【つなぐ】市内の魅力をつなぎ、回遊を促す

目標⑦　安全で快適な歩行・自転車移動環境の整備

⑦－Ⅱ　自転車利用環境の基盤整備

- 自転車活用推進計画の策定や、自転車通行空間・駐輪場の整備を進め、自転車で移動しやすいまちなか環境を整えます。

具体的取組　関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
住訪 自転車活用推進計画の策定	鯖江市					
住訪 自転車通行空間および駐輪場の整備	鯖江市					

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針３　【つなぐ】市内の魅力をつなぎ、回遊を促す

目標⑧　市内の回遊を促す仕掛けの創出

⑧－Ⅰ　回遊性を高める移動手段の利便性向上

- サンドーム福井や西山公園、めがねミュージアムへの移動手段の維持・確保、つつじバスやタクシーとの連携強化などにより、移動手段の利便性向上を図ります。
- また、オープンファクトリーへのアクセスを高める鳥羽中駅の整備や、水落駅パーク＆ライド駐車場の周知・利用促進を図り、市内周辺駅の機能を充実させます。

具体的取組　関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
住訪 サンドーム福井・西山公園・めがねミュージアムへの移動手段の維持・確保	鯖江市、交通事業者					
住訪 鉄道を軸にした、つつじバス、タクシー、シェアサイクル等との連携強化	鯖江市、交通事業者					
住訪 コミュニティバスの利便性向上	鯖江市、交通事業者					
住訪 オープンファクトリーへのアクセス性を高める鳥羽中駅の整備	鯖江市、交通事業者					
住訪 水落駅パーク＆ライド駐車場の周知、利用促進	鯖江市、交通事業者					

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針３　【つなぐ】市内の魅力をつなぎ、回遊を促す

目標⑧　市内の回遊を促す仕掛けの創出

⑧－Ⅱ　回遊案内・交通情報発信

- 二次交通情報のパンフレット作成や駅から商店街への誘導強化、案内看板の整備、リアルタイム交通情報の発信により、来訪者の回遊を後押しします。

具体的取組　関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
住訪 二次交通情報をまとめたパンフレットの作成	観光協会、鯖江市、交通事業者		■	■		
住訪 駅から商店街への誘導強化	観光協会、民間事業者	■	■			
訪 サンドーム福井・西山公園・めがねミュージアムへの案内看板整備	観光協会、鯖江市	■	■	■	■	■
住訪 リアルタイム交通情報の発信	鯖江市、交通事業者	■	■	■	■	■

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

具体的取組の内容

基本方針３　【つなぐ】市内の魅力をつなぎ、回遊を促す

目標⑧　市内の回遊を促す仕掛けの創出

⑧－Ⅲ　周遊コース・イベント造成

- 市内の主要拠点を巡るモデルコースや周遊サインの整備、スタンプラリーの実施のほか、市内各種産業と連携し、高単価体験型商品の造成やツアーの造成強化、モニターツアーの実施を通じて、鯖江ならではの記憶に残る体験を提供し、市内回遊に楽しみと付加価値を持たせ、来訪者の満足度と消費単価の向上を図ります。

具体的取組　関連する視点 ｜ 働：働く、住：住む、訪：訪れる	実施主体	実施年度				
		R9	R10	R11	R12	R13
訪　市内の主要拠点を周遊するモデルコースの設定および周遊サインの整備	観光協会、鯖江市					
訪　観光地を巡る周遊スタンプラリーの実施	観光協会、鯖江市					
住訪　イベントと連携した、つつじバスの体験型企画切符の実施	観光協会、鯖江市、交通事業者					
訪　鯖江ならではのツアーの造成（高単価体験型商品、一般ツアー、モニターツアー）	観光協会、民間事業者					

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

関連する写真を掲載

【委員名簿】

委員名簿 ■ 鯖江まちなか交流・にぎわい協議会

区　分	所 属 等	氏　名	備考
委員	鯖江商工会議所　会頭	加藤　団秀	
	（一社）鯖江観光協会　会長	永杉　宏之	
	鯖江市長	佐々木 勝久	
幹事会	鯖江商工会議所　副会頭	佐々木 英二	
	（一社）鯖江観光協会　専務	関本　光浩	
	鯖江市　副市長	小野田 謙一	
	福井工業大学　建築土木学科　教授（中心市街地分科会長）	下川　勇	
	福井工業大学　環境学部　教授（鯖江駅分科会長）	三寺　潤	
	福井工業大学　工学部　教授（産業観光・交流分科会長）	吉村　朋矩	
幹事会（オブザーバー）	福井県未来創造部 新幹線・交通まちづくり局　局長	姫川　祐一	令和８年３月まで
		藤本　真也	令和８年４月から
事務局	鯖江商工会議所　専務理事	山本　雅之	
	鯖江市産業交流部　部長	渡辺　賢	

委員名簿　■中心市街地分科会

区　分	所 属 等	氏　名	備考
分科会長	福井工業大学 建築土木学科　教授	下川　　勇	
会員	さばえ街づくり協議会（本町商店会会長）　会長	八田 健太郎	
	誠市実行委員会（寺町商店会会長）　委員長	佐々木 隆治	
	古町商店会　会長	倉橋　　宏	
	御殿商店会　会長	帰山　明朗	
	鯖江駅前商店会　会長	久保田 裕之	
	中央商店会　副会長	西澤　直樹	
	公園口商店会　会長	酒井　孝佳	
	NPO法人エル・コミュニティ　代表	竹部　美樹	
	鯖江おかみさん会　会長	大塚　浩恵	
	鯖江市役所　ＪＫＯＧ課　代表	栗田　もも乃	令和８年５月から
	本町1丁目　区長	蓑輪　泰造	令和８年３月まで
		八田　浩一	令和８年４月から
	本町3丁目　区長	三浦　励治	令和８年３月まで
		小堀　二郎	令和８年４月から
	一般社団法人福井県眼鏡協会　専務理事	伊藤　幸彦	
	鯖江市地域おこし協力隊　隊員	佐藤　静恵	令和８年３月まで
	鯖江市地域おこし協力隊　隊員	中川　晴香	
	（一社）鯖江観光協会　部長	小西　信一	令和８年３月まで
オブザーバー	福井県産業労働部　副部長（商業・市場開拓）	長谷川 慎司	令和８年５月まで
	福井県商業・市場開拓課　課長	大澤　　優	令和８年５月から
事務局	鯖江商工会議所 中小企業相談所、地域振興課、鯖江市 交通・にぎわい創出課		

委員名簿　■鯖江駅分科会

区　分	所 属 等	氏　名	
分科会長	福井工業大学　環境学部教授	三寺　　潤	
会員	株式会社ハピラインふくい　総務企画部長	坂上　寿浩	
	鯖江駅前商店会（久保田酒店）　会長	久保田 裕之	
	鯖江駅前ビル管理組合（井筒不動産合同会社）　管理者	井筒 外志勇	
	宿泊事業者（ビジネスホテルおさむら）　代表取締役	黒田 富士男	
	鯖江地区ハイヤー・タクシー業会（株式会社相互タクシー）　専務	小寺　隼樹	
	つつじバス事業者（つつじ株式会社）　代表取締役	清水　康弘	
	福井工業高等専門学校　学生主事	吉田　雅穂	令和８年３月まで
		田安　正茂	令和８年４月から
	福井県立鯖江高等学校　生徒支援部長	栗田　健一	
	旭町1丁目　区長	佐々木 博則	令和８年３月まで
		山崎 英二郎	令和８年４月から
	柳町1･横江町1･2丁目　前区長	片山　弘敏	
	日の出　区長	石田　幸雄	令和８年３月まで
		山田　典明	令和８年４月から
	特定非営利活動法人 小さな種・こころる　所長	宮川　深雪	
	一般社団法人 福井県眼鏡協会　専務理事	伊藤　幸彦	
	鯖江商工会議所　主事	漆崎　裕平	
	一般社団法人 鯖江観光協会	渡辺 三知恵	
オブザーバー	福井県地域鉄道課　課長	横川　裕康	
事務局	鯖江市　交通・にぎわい創出課、都市計画・住宅課		

委員名簿　■産業観光・交流分科会

区　分	所 属 等	氏　名
分科会長	福井工業大学　工学部教授	吉村　朋矩
会員	福井鉄道株式会社　常務取締役	澤﨑　幸夫
	一般社団法人 福井県眼鏡協会	竹川　侑里
	協同組合 鯖江市繊維協会　局長	品川　善浩
	越前漆器協同組合　局長	九島　隆
	鯖江商工会議所　局長	黒谷　正樹
	道の駅西山公園　駅長	伊藤　努
	鯖江おせっ会　代表	上嶋　睦美
	鯖江まち歩きガイドの会　代表	吉村　明美
	一般社団法人ＳＯＥ　専務理事	濵本　絵里
	株式会社 ＪＴＢ福井支店　仕入営業グループリーダー	向山　修平
オブザーバー	福井県 交流文化部 副部長（観光政策）	山田　輝雄
	一般社団法人 福井県眼鏡協会　専務理事	伊藤　幸彦
事務局	一般社団法人 鯖江観光協会、鯖江市　産業振興課、交通・にぎわい創出課、公園緑地課	